

～第8770回～

上高地

～R1. 10. 5-6～

北アルプスの紅葉を目的に、上高地から前穂高岳中腹の岳沢小屋(標高2,170m)に登り、宿泊した。小屋は広い沢筋でジャンダルムの下部にあるため展望が良く、到着後は明神岳、梓川、乗鞍岳や背後に黄色く染まった穂高連峰の360度の秋の景色を楽しんだ。翌日は往路を下り、上高地の梓川沿いに明神池・明神橋・ウェリントン碑を周回した。5日は参加者14名(男女各7名)が袋井駅とJA袋井に集合し、レンタカー2台で出発した。東名袋井インターから東回りで中部縦貫道(一部富士川左岸)、八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳を見ながら中央道を走り、長野道松本インターから国道158号線を抜けて沢渡駐車場へ、タクシーに乗換えて5時間20分で上高地に着いた。河童橋から梓川の清流と正面に並ぶ穂高の山々を眺めて昼食を取り、穂高・岳沢登山口に向かった。登山口から笹と針葉樹の森に入り、暫く進むと子供連れの猿が7匹現れた。人馴れして餌を欲しがっていると判断し、全員で無視して進むとやがて見えなくなった。登山路には10番(登山口)から0番(小屋)まで標識が付いており、目安になって有難かった。7番標識を過ぎると紅葉した広葉樹が増え、6番標識で西穂と上高地の展望の良いガレ場に出た。沢沿いで涼しい風も吹くなか高度を稼ぎ、小屋まで標高差670m・4.2kmのコースを3時間超で着いた。今回は余裕のある計画のため、夕食までの時間はベンチから小屋後方の独標～西穂高岳～天狗の頭～ジャンダルム～前穂高岳の急峻な岩稜と黄色に色着いた斜面を眺めながら、男性陣はアルコール・女性陣はお茶で山の時間を満喫した。小屋は9年前に再建されて、トイレも含め清潔で水の使用も制約が無く良かった。夕食は5:30、8:00に発電機が止まり消灯した。

6日は5:30の朝食後、朝日に照らされた西穂の稜線を見ながらリーダー持参のコーヒーを頂き、登山口に2時間で戻った。梓川を上流に向かって明神池へ歩き、周辺の穂高神社や嘉平次小屋を散策した。明神橋を左岸に渡り、観光客・登山者で溢れる単調な道をひたすら歩いて河童橋へ戻り、観光客の間を縫って右岸に渡り返し、ウェリントン碑に向かった。涸沢からの登山客で14:00以降交通機関は混雑するという判断から、予定していた大正池は残念ながらオミットして、カラマツ林の梓川沿いの道をバスターミナルまで3時間で周回した。タクシーで沢渡へ、レンタカーで日帰り温泉に寄り、近くのドライブインで昼食を取って、往路と同じ道に戻った。行動中は好天に恵まれ秋の青空、穂高の険しい岩の鋭角的な稜線、山の中腹に下がった紅葉のコントラストが美しかった。メジャールートを外れているため、ハイシーズンにも関わらず小屋・登山路の混雑はなく、気持ちの良い山行だった。

参加者：14名(袋井)

天気：①晴れ ②晴れ

地図：上高地

コースタイム：袋井駅 500＝JA 袋井 515＝東名袋井 IC＝清水 JT＝中部縦貫道＝中央道
＝長野道＝松本 IC900＝沢渡駐車場 1000＝上高地バスターミナル 1020…河童橋(昼
食)1110…穂高岳沢登山口 1120…7 番標識 1215…5 番標識 1240…2 番標識 1340…0 番標
識・岳沢小屋(泊)1410-650…穂高岳沢登山口 900…明神池 1020…河童橋 1120…ウェリン
トン碑 1140…上高地バスターミナル 1210＝沢渡駐車場 1240＝温泉・レストラン 1400＝
松本 IC1520＝長野道＝中央道＝中部縦貫道＝東名＝JA 袋井 1920

記録：袋井支部 楠